

令和3年3月1日

保護者 様

玉名市立天水中学校
校長 福田 賢一

令和2年度 自己評価書・学校関係者評価書の結果について（お知らせ）

向春の候、保護者の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本年1月末に実施しました標記の結果を別紙のグラフとともにお知らせします。この調査は前期の7月にも実施していますが、今回も皆様方にご協力いただきお礼申し上げます。

本校では、これらの評価結果を分析し、成果と課題からより一層の改善に取り組むとともに、次年度の教育活動に活かしていきたいと考えています。

また、地域や保護者の皆様と連携しながらより信頼される学校づくりができるよう努力して参りたいと思っておりますので、今後も保護者の皆様方のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

記

前期との結果比較・考察および対策

（1）生徒の評価から

全体的に肯定的割合が高い項目が多い中でも前期に続き「学校はいじめや差別を許さない学校や学級づくりに努めている」は97%でした。このことは、県学力・学習状況調査でもわかるように学級のまとまりが高いことやいじめが発生しにくい集団であるという結果とも関連しています。肯定的割合が低かった項目は「生徒は、自らの健康安全意識および体力の向上に努めている」で、コロナ禍の中で体を動かす機会が減少しており、体育の授業を中心として運動量の確保に努めていきます。

（2）保護者の評価から

ほぼ全項目において前期より後期の方が肯定的な割合が高い中で、生徒の自己評価と比較すると幾分違いが見られます。中でも「生徒は、ゲームやネット利用に関するルールを守れている」では25%の開きがあり、県学力・学習状況調査での「学習習慣」が課題となっていることとも通じています。定期テスト時のメディアコントロール週間をはじめとして保護者のご協力をいただきながら改善を図っていきます。

（3）教職員の評価から

肯定的な割合が高いのは、生徒と同じく「学校はいじめや差別を許さない学校や学級づくりに努めている」で100%でした。逆に肯定的な割合が低かったのが「生徒は「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的生活習慣が身につけている」・「生徒は、ゲームやネット利用に関する家庭でのルールを守れている」でした。生活習慣と学力の相関性を生徒に丁寧に理解させながら更なる意識改革を図っていきます。

（4）学校運営協議会委員の評価から

肯定的な割合が高いのが、前期に引き続き「学校は、地域に開かれ、地域とともにある学校づくりに努めている」で100%でした。また、「生徒は、いつでもどこでも誰にでも気持ちのよいあいさつができています」も10%伸びて100%でしたが、保護者や教職員では80%以下にとどまっています。いつでもどこでも誰にでもさわやかな声で気持ちのよい挨拶ができるように挨拶の良さを広めていきます。

【天水中学校 ☎82-2044】